

短信同期の会 その二

催しました。

当日は、懇親会前に有志20名程が鳳鳴の校門前に集まり、百周年記念館や中神明町の一面に模築された松下村塾を見学し、開始一時間前に会場の秋北ホテルに入りまして、すでに大勢の仲間が集まり出交を暖めておりました。

参加者は川手先生、小番先生、澤口先生の3恩師を含む83名もが各地から参加する大盛会で、懇親会では話が尽きず、参加者の殆どが延長戦にもつれ込んで話に花が咲きました。

翌日は有志30名程で、小雨が降る



中をゴンドラで森吉山を散策し、山麓にある柚(高15)さん経営の秘湯・柚温泉に泊って、川手先生を囲んでクマ肉での二次会を存分に堪能しました。

さらに翌々日も、北海道や九州から馳せ参じた仲間と首都圏の有志ら11名は、森吉山麓の施設を巡り、阿仁の打当温泉マタギの湯で山の幸を肴に秋田の酒を酌み交わしての三次会と、尽きぬ名残りを惜しんで来ました。

さて昨年は、記念同期会で東京九輪会恒例のキリタンボ会を休みましたが、今年は11月8日(土)に六本木クラブで開催する予定です。同期の皆さんご出席よろしく。

(其田一雄記)

▼鳳鳴十三期新年会、上海の旅

我が13期の新年会は今年も40名弱の参加があり盛会であった。10年ほど前から「桂」の同期と合同でやるようになり賑わいを増している。

昨年4月にはこの仲間で「上海、蘇州4日間」の旅を楽しんで来た。参加は大館から明石、乳井両君、山形から稲毛君も来てくれ、男性10名、女性7名であった。(上海在住の木村君が夜食会に参加)

発展著しい上海、430キロで飛ぶ？リニアカー。468mのテレビ塔からの眺め。「雑技団」の轟音激しいオートバイ6台の球体内ぐるぐる回転。これには度肝を抜か



れた。「錦溪」の女船頭の民話。「虎丘」の斜塔。漢文で習った「寒山寺」。懐メロの「蘇州」雨に煙る「太湖」など等、1年近く過ぎたいまでも鮮明に思い浮かぶ。

お土産に蘇州刺繍の衝立を数十万円で購入した人を筆頭にみんなが買い物を楽しんだ。絹工場では「真綿の布団」が人気。お茶は何種類も試飲ができてついつい買いうはめに。太湖の淡水真珠はイケメンの弁舌に魅了されて買ってしまった女性も！寒山寺では掛け軸と「数珠」を買った人が多かった。買い物は旅の楽しみ。思い出にもなり、いいものである。

小生、ツアーでの海外旅行は何回か経験しているが、この同期の旅ほど印象深いものは無い。普通の団体旅行はキコチ無い雰囲気が始まるのだが、この会は見知った仲間だけにバスの中も食事でも遠慮は無

用、終始和やかだった。各地の料理もすべて美味しくビールも紹興酒もすすんでしまった。すこし強行な日程ではあったが脱落？者も無く楽しく終了できた。

6月下旬、旅を楽しみ思い出す会」の誘いがあり、「よく集まるわネ」と呆れたような羨ましそうな「カミさん」の声を背に受けて参加した。旅の写真肴に盛り上がり、美味しい酒がふんだんにあってこれもまた楽しい会であった。

この旅行が素晴らしいことから、第2回をやるかと決まった。さて今度は台湾かベトナムかシンガポールか。今から楽しみである。是非参加しようと思う。工藤君はじめ、幹事役に感謝！感謝！である。

今回タイミングが合わず参加が叶わなかった同期諸兄弟が、次回は参加され一緒に楽しめるよう心から祈っている。(能登洋治記)

▼関東十四期会 短信

平成19年度の特徴的なイベントは、鹿角市大湯の「ホテル鹿角」で開催された鳳鳴卒業45周年記念同期会「十四期会(としころかい)」である。

地元の幹事さんは、関東からも参加の約20名のために、懐かしい秋北バスでの錦秋の八幡平観光の企画を折り込んでおり、幹事計らいに一同大感激した。懇親会場では5年振りの再開や、45年振りに再会した同期のあまりの変わり様にお互いがびっくり…。カラオケ、二次会、三次会と果てしなく続いた記念懇親会だった。

皆様の「ご健闘を
お祈りいたします

鳳鳴七期(昭和30年)卒業

- 丸屋 哲雄
- 若木柳太郎
- 鈴木 三夫
- 石垣 正博
- 大本 倅嗣
- 渡辺 政雄
- 佐藤 昭

(順不同)

東京九輪会

(鳳鳴9期)

恒例のキリタンボ会を下記の要領で開催します。ぜひご参加下さい。
日時：平成20年11月8日(土)16時集合
会場：新日鉱グループ六本木クラブ
案内状は9月中旬に発送します。

会長・阿部 政直
幹事長・三上 実 幹事・其田 一雄

鳳鳴27期

- 近藤 義徳 (阿仁合中)
- 田中 義雄 (成草中)
- 山脇 章平 (比内中)

- ◎毎年11月第2土曜日に同期会を開催。
- ◎幹事はクラス持ち回り。今年度はD組です。